

ケアする人のケア フォーラム))))))) 言語から 身振りへ

ふるまいを 読み解く

【パフォーマンス】「竹おどり・大阪初上陸!!」竹之下亮

【講演】「言語から身振りへ」野村雅一

【実践報告】

「笑いと病と生とークリニックラウン（臨床道化師）の活動」塚原成幸

「ふるまいが居場所をうみだすー常設型地域の茶の間『うちの実家』」河田珪子

「身体をもって、からだに関わるー高齢者施設でのダンスワークショップ」佐久間新

【ディスカッション】「ふるまいを読み解くーケアの現場のコミュニケーション」

塚原成幸 × 河田珪子 × 佐久間新 × 竹之下亮 進行：志賀玲子

気持ちを伝え、気持ちを受け止めることに、難しさを感じたことはありませんか？

それは人と人のやりとりから、身体が抜け落ちてしまっているからではないでしょうか。それはまた、さまざまなふるまいをまとめあげた「暮らし」が、身体から失われているからではないでしょうか。

私たちの身振りやしぐさは言葉以上に多くのことを伝えていきます。人と人が関わるケアにとって、ふるまいを読み解き、つながることは欠くことのできない術のひとつです。本フォーラムでは、言葉によるコミュニケーションが優位な時代に身振りが持つ意味、そのなかの「身体知」について考えてみたいと思います。ケアをより人間的な営みにするために。

3月12日(土) 2011年 14:00 ~ 17:00

会場：應典院本堂ホール

大阪府大阪市天王寺区下寺町 1-1-27 浄土宗大蓮寺塔頭 應典院

参加費：1,000円

交流会参加費：500円

定員：80名

主催：財団法人たんぽぽの家

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業